

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	塚山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横須賀土木事務所)

選定基準大項目	評価項目				審査(評価)の視点(C)	提案内容(D)	指定期間 令和4年度の事業実績(E)	所管課による課題分析等(F)	事業実績の確認方法(G)				
	選定基準中項目(A)	小項目(B)	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 地域、企業、教育機関などとの様々なパートナーシップを一層推進し、地域や人々の心を豊かにするとともに、県民共有の財産である公園の施設、みどり、生物などの自然環境、伝統文化等をしっかり次世代に引き継いでいく。	計画通り実施している。 (他の提案内容の実績が、当該提案内容の実績を包含している。)	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○	○		
						公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「塚山公園を地域の持続可能な発展の核に」を掲げ、「エリアマネジメント」「緑の保全」「未病の取組」の4つのテーマを柱として取り組む。	・緑の保全として、ナラ枯れ、テング巢病等の樹木処理を集中的に行った。 ・県と連携して、災害発生時のフローの確認等、情報伝達の訓練を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いてきているので、今後は、未病の取組(自治会のレクリエーションの場の提供、ボランティア活動など社会参加等)に係る取組の推進が望まれる。	○			
						利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として「安全で快適な利用空間の平等な提供」「利用者や地域住民等の意見を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	・桜の開花状況のライブ配信、Twitterの活用等により、積極的な情報発信を行った。 ・ユニバーサルデザインを推進するために、ホームページを多言語化した。	提案に基づいて適切に実施されている。今後は、伐採樹木のチップ化や薪などの発生材の有効活用、地域と連携した周辺道路の清掃活動など、環境に配慮した管理運営の推進が望まれる。	○			
						業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等(委託先の選定方法、県内(地域)企業への委託の考え方)	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営できめ細やかな維持管理を行うことを基本に、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、地域企業へ積極的に発注する。	・公園の特性を熟知した職員による直営の作業により、きめ細やかに維持管理された。 ・業務によって、地域企業に積極的に発注されていた。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○	○		
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	9	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 地元団体である公園保存会による日常巡視、清掃、除草活動を基本にした維持管理により、安全で快適に利用できる質の高い公園の管理運営を行う。	・桜の樹勢回復、テング巢病の患部の切除、ヒコバエの育成、苗床の作製・植え付け作業を行った。 ・人力除草や保護区画の設置等により、様々な山野草が自生する環境の保護に取り組んだ。	提案に基づいて適切に実施されている。今後は桜の維持管理を継続するとともに、テング巢病等の病気に強い桜を新たに植樹する取組の推進が望まれる。	○	○		
						施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 事後保全から予防保全へシフトし、日常巡視等により、事故発生リスクを軽減する。長寿命化点検を実施するとともに、伐採した樹木や管理作業によって発生した廃材を活用して修繕を実施するなど、ゼロエミッションを目指した管理を行う。	・専門的技術を有する企業による浄化槽の法定点検を行った。 ・施設点検パトロールにより修繕箇所を発見し、対応の検討につなげた。	提案に基づいて適切に実施されている。日常点検による問題箇所の把握や対応は迅速に行われているので、今後は長寿命化やゼロエミッションを目指した一層の取組の推進が望まれる。	○			
						清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 公園施設の維持管理にあたり、来園者に不快感を与えることがないよう、園内清掃に努める。起伏にとんだ園路において転倒事故につながる恐れのある苔を除去し、不法投棄の防止、利用頻度に応じたトイレ清掃を行う。	・利用頻度に応じてトイレを清掃した。 ・桜の開花に合わせてゴミ箱を臨時に設置した。	提案に基づいて適切に実施されている。トイレ清掃や来桜祭りの際の臨時ゴミ箱設置を丁寧に行い、清潔さを維持している。このことを継続しつつ、今後は安全な園路の維持(苔の除去)や不法投棄の防止について、一層の取組の推進が望まれる。	○	○		
						樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 桜の老木化においては、樹木医等の指導による桜の樹木治療、病気に強い桜の植樹や実生からの育成等をロードマップのとおり実施し、更新を行う。桜以外にも山野草や梅など、四季を通じて様々な花が楽しめる、安心・安全な公園とするため、適切な時期に剪定するなど、長年の公園管理経験を活かした維持管理を実施する。	・県と協力しながらナラ枯れ対応を行った。 ・除草による山野草の保護を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。既存の桜を積極的に維持管理している。今後も桜、山野草、梅などの維持管理を継続するとともに、テング巢病等の病気に強い桜を新たに植樹する取組の推進が望まれる。	○	○		
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	8	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	○ 公園の特性や課題を踏まえ、「塚山公園さくら祭」への協力や、按針塚を代表とする歴史資源の活用、公園の自然環境等を活かした自然観察会の開催、公園の自然の中でのグリーンエクササイズの推進などに取り組む。	・観光協会が主催するさくら祭に協力した。 ・自然環境や眺望等を活かした山野草観察会を開催した。	令和4年度は新型コロナウイルスの影響で見送ったイベントが多かった。今後は、社会情勢を見極めながら、実施について積極的に検討することが望まれる。	○	○		
						有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ ハイカー等への利用者サービス向上や夏季の熱中症対策のため、管理事務所前と中央トイレ付近に自動販売機を設置する。	・ユニバーサルデザイン、マルチマナー対応、災害支援ベンダー、事故防止対策が施された自動販売機を導入した。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○	○		

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	8	多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○ 遠方の利用者に向けたホームページや情報誌、近場の利用者に向けた地域誌など、ターゲット毎に広報ツールを使い分け、効率的な広報を行い、更なる利用者増を図る。また、桜の開花時期には、ライブカメラを設置し、桜の開花状況をリアルタイムで配信する。	・桜の開花状況のライブ配信、Twitterの活用等により、積極的な情報発信を行った。 ・ハイキングコースの休憩場所であるため、ホームページ等を活用して、コースの案内を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。今後はアクセス解析によるニーズの把握、イベント開催による閑散期、遠方からの利用者の誘致について、一層の取組の推進が望まれる。	○			
						公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	該当なし	—	—				
						利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○ 自動販売機の料金設定については、近隣施設などの料金を考慮したうえで、公の施設として相応の料金を設定する。	本公園は小高い山の上であり、ハイキングコースの一部となっているが、近隣の自動販売機の料金と乖離しない料金を設定した。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○			
		利用者対応・サービス向上の取組	5	4	接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけるよう、スタッフ全員が以下に掲げるおもてなし五箇条を理解・実践し、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。 ○ 利用者相互の安全確保として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためのルールを策定した。	・利用案内の手引きを作成し、全スタッフが携帯し、公園利用者に共通した認識で対応した。 ・バリアフリー対応の状況やユニバーサル対応について、ホームページ、パンフレット、園内看板等により情報提供した	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○				
					サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○ 公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。	・日常の利用者との対話、メールや電話での意見や苦情等の受付、利用者満足度調査等により、ニーズや苦情を的確に把握した。 ・バリアフリー対応の状況やユニバーサル対応について、ホームページ、パンフレット、園内看板等により情報提供した。	提案に基づいて適切に実施されている。今後は蓄積された情報を分析及び活用して、利用者満足度の向上や新規利用者の獲得を図るため、一層の取組の推進が望まれる。	○				
					外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 本公園は横須賀海軍施設が近く、年間を通して多くの外国人が訪れるため、多言語での対応に取り組む。また、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	・ホームページ多言語化対応、翻訳機器の導入等、外国人利用者への対応を行った。 ・車いすの貸出、管理事務所前への駐車許可等、障がい者や高齢者への対応を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、誰もが安全・快適に利用できる公園を目指す取組を期待する	○				
	神奈川県手話言語条例への対応	○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」を管理事務所に 掲示する。	・職員研修として手話講習を実施した。 ・耳マークを管理事務所に掲示した。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○	○							
	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○ 不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。また、来園者への積極的な声掛けなどで、顔の見える関係を築くなどして、地域と一体となった防犯対策に取り組む。	・来園者の事故、労働災害防止を目的として、スタッフを対象としたリスクマネジメント研修を実施した。 ・地元有志団体である公園保存会による管理が行われているため、地域と一体となった顔の見える防犯対策が行われていた。	提案に基づいて適切に実施されている。今後はリスクマネジメントのうち、リスクの抽出について、一層の取組が望まれる。	○	○		
						樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○ 日常の巡視において、市道沿いや園路沿いなど、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じて、伐採や病虫害防除等を速やかに行う。	・高所の枯れ枝、ナラ枯れ、支障木について、専門業者と現地調査を確実に行った上で、樹木処理を集中的に行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、日常巡視や調査による状況把握を行い、樹木による災害の未然防止に努めてもらいたい。	○	○		
						事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者以外に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○ 事故を認知した時点で、職員が救急キット等を携帯して現場へ急行し、傷病者の応急措置を行うとともに、必要に応じて緊急車両の要請と車両進入路の確保等対応等を行う。また、来園前に注意を呼び掛けるSNSや現地の立入規制看板等に、多言語表記や「やさしい日本語」を活用し、事故防止につながる情報アクセシビリティの向上を図る。	・歩行困難者に対し、バリアフリーマップを活用した段差の少ない園路の案内、貸出用車いすの提供等ができる体制を整えた。 ・情報伝達困難者に対しては、筆談、コミュニケーションボードの活用ができる体制を整えた。 ・SNSや立入規制看板を用いた注意喚起において、やさしい日本語を活用した。	提案された考え方にに基づき、適切に実施されている。引き続き、事故発生時の迅速な対応、報告の徹底に努めてもらいたい。	○	○		
						急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応します。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。	・近隣医療機関の連絡先、診療科、休診日等の情報把握や、速やかな情報提供ができるような体制を整えた。 ・職員がAEDや応急手当に関する知識を取得し、緊急時に適切に行動できる体制を整えた。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○			

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)					
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより、「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	日常利用における感染防止対策、イベント時の対応、職員の感染防止対策等を組み合わせて、新型コロナウイルス感染症に対応できる体制を整えた。	提案に基づいて適切に実施されている。今後は新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じた対応とすることが望まれる。	○				
			災害への対応 (事前、発生時)	5	4	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	リアルタイムの情報収集、注意報、警報等のタイムラインに沿った対応、夜間待機やパトロールの実施等の対応を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○				
						公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」や公園協会が整理したタイムライン等に沿って迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園に速やかに参集可能な協会本部や公園周辺の職員も含めた緊急時参集体制を構築することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動対応を図る。	勤務時間外に震度6弱の地震が発生したという想定で、緊急参集訓練を実施した。また、衛星携帯電話やIP無線機での通信訓練や備蓄品の確認を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、訓練の実施や初動対応の確認を行い、震災時に備えた取組が望まれる。	○				
						大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に 応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 公園の一部は土砂災害警戒区域に指定されており、大雨や地震発生時には土砂災害が発生する危険性があることを踏まえ、地震発生後の点検の実施や警戒区域に面する園路の通行止め措置などを行う。公園及び地域の防災力の強化を図るため、地元自治会と協働で防災訓練を実施するなどして連携を深める。	震災時に活用できる施設等の維持管理、防災訓練・職員教育等により、災害に備えた事前対策を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。今後は、災害に備えた事前対策を活かして、横須賀市や近隣施設等との連携について、一層の強化が望まれる。	○				
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 地域に根差した公園として成長するとともに、より広範囲の県民ならびに団体から愛される公園になるように地域や関係機関と協力していく。	地元観光協会主催の三浦桜針祭にスタッフや広場の提供を行った。また、その他のイベントや広報、ハイカーサポート、防災、防犯において、地域や関係機関と連携を図った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、地域や関係機関との連携した取組が望まれる。	○				
						ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ 公園ボランティア団体の活動をより促進するため、より多くの方がボランティアとして参加できるような環境づくりに努めるとともに、維持管理やイベント運営に関わる手法などを伝え、ボランティアの育成につなげる。	維持管理やイベント実施の協力として、清掃活動、スポーツ大会、花壇への地植え、イベントのサポートを行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、公園ボランティア団体の活動を促進する取組の継続が望まれる。	○				
						周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 地域の歴史資源としてペリー公園、ヴェルニー公園等と連携し、横須賀の歴史遺構を巡るスタンプラリーや歴史ガイドツアーの開催を検討する。	花とみどりのフォトコンテスト、スケッチイベントの展示、歴史資源として価値のある近隣公園と連携して、スタンプラリーやガイドツアーを開催した。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き近隣施設や他の公園との交流・連携の取組を充実させることが望まれる。	○				
						地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 高木管理は公園を昔から知る地元造園業者に委託して安全かつ確実な管理を行うため、台風等による倒木被害等が発生した場合の応急復旧に関しても、迅速な対応が期待できる。夏季の除草作業等、集中的に実施する必要がある業務についても、社会的ニーズへの対応といった観点から、地元造園業者に業務委託することにより地域連携を図る。	高木管理や夏季集中作業を、公園に精通している地元造園業者へ委託した。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、地域の企業等への業務委託により、地域連携が図られることを期待する。	○	○			
	III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	施設維持管理に関する法令遵守、労働関係法規の遵守を図るための体制を整えた。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○				
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	再エネ電力の積極的な活用、樹林地の管理、事務所の省エネ、希少種の保護、外来種の駆除、ゴミの削減等を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。引き続き、継続的な取組が望まれる。	○				
法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績						○ 障害者雇用状況については、神奈川県公園協会は法定雇用率を達成している。県立塚山公園保存会は制度対象外団体となっている。	・神奈川県公園協会は、法定雇用人数を充足している。	・提案内容のとおり、適切に実施している。引き続き、法定雇用率の達成に向けて、適切な対応に努めてもらいたい。	○					

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢 献	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広 まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かなが わ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広 報啓発・研修等に取り組んでいる。	日常の管理運営に即した職場内研修や障がい者 理解促進研修を実施した。また、事務所前への 駐車場の許可、車椅子の貸出等、合理的配慮の提 供を行った。	提案に基づいて適切に実施されている。今 後はイベント等への参加促進、公園利用者 等への普及啓発について、一層の取組が望 まれる。	○		
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を 確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な 手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	手話普及責任者と手話普及員を配置し、手話講 習会等の研修を活用し、職員の指導を行った。 また、コミュニケーションボード等のツールを 設置した。	提案に基づいて適切に実施されている。 引き続き、聴覚障がい者の方に安心安全な 公園となるよう継続的な取組が望まれる。	○		
						社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SD Gs（持続可能な開発目標）への取組	○ 主な取り組みは次のとおり。 ・県、横須賀市等が実施する事業への協力等、地域と 連携したエリアマネジメント ・災害に備えた訓練、マニュアルの更新、防災備蓄品 の管理等、地域と連携した災害に備えた公園づくり ・自治会の活動の場の提供、ボランティア等、社会参 加の場の提供等、地域と連携した未病への取組 ・園内の歴史・自然についての観察会で専門知識をも つスタッフが学びの場を提供 など	計画通り実施している。 （他の提案内容の実績が、当該提案内容の実績 を包含している。）	提案に基づいて適切に実施されている。引 き続き、継続的な取組が望まれる。	○		
	(7)	事故・不祥事への対応、個 人情報保護	事故・不祥事 への対応、個 人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な 事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等 があった場合の対応状況及び再発防止策構築状 況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	当該年度に重大な事項、不祥事はなく、適切に 業務を遂行している。	引き続き、重大な事故や不祥事を起こさな いよう努めてもらいたい。	○		
個人情報保護についての方針・体制、職員に対 する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状 況						○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等 の個人情報を適切に管理することが必要不可欠である との認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸 規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情 報の適正な保護に取り組む。	個人情報保護のための方針や組織体制、職員に 対する教育・研修体制を整えた。	提案に基づいて適切に実施されている。引 き続き、継続的な取組が望まれる。	○			

※「事業実績の確認方法（G）」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績（E）」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認  
(施設写真)

施設名	塚山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横須賀土木事務所)

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
公園の全景	海に見える丘
	
安針塚	さくら祭